

京プランを撤回し、 くらしを応援すべき

本会議代表質問



●南丹市の風レンズ風車を視察



4億円の展望台より、ごみ袋代の値下げを

京都市は伏見区の南部クリーンセンター第2工場の建て替えに当たって、ごみ袋代の収益（有料化財源）8億5千万円を使い、世界最先端の学習施設をつくる計画です。そのうち4億円で煙突に展望台をつくり、焼却場の施設の広さを学習してもらうという計画です。このようなムダ遣いはやめるべきです。

有料化財源は、年間約13億円～15億円もたまっており、高いごみ袋代の値下げは十分に可能です。京都市は「値下げをすればごみが増える」と言いますが、袋代の値下げで市民生活を応援し、市民と協力してごみを減らすことが必要です。

「原発ゼロ」の立場を示すべき

短期的には原発の再稼働を認める市長に対して、「新基準は事故原因の解析と検証を行わずに作成されたもので、世界で最も厳しい水準の規制基準ではない。安全な原発はないということが福島事故により明らかで、新基準に適合しても『事故ゼロ』を保障するものではない。『新基準に適合した原発は

安全』とすることは『新たな安全神話』そのものだ。『原発ゼロ』の立場に立つべきだ」と追及し、風レンズ風車のような仕事おこしも兼ねた再生可能エネルギーへの支援策を求めました。

日本共産党 京都市会議員

西野さち子



URL <http://nishino-sathiko.jp/> ✉ shikai@nishino-sathiko.jp

トピックス

地域で奮闘
みなさんとともに
頑張っています

市営住宅の浴槽取り替えを

市営住宅では、浴槽の高さが高く、高齢者や足が上らない方は、入浴に危険が伴います。また、古くなって穴が開いた浴槽の取り替えは個人負担です。これでは、大家としての市の責任は果たせません。必要度の高い所から市の責任で取り替えるべきです。

小栗栖浸水被害の賠償は 早急に解決すべき

「人災」と認めながら、浸水被害から9カ月経っても示談が成立したのは6割です。しかも、4月からは担当者を減らしており許せません。

排水機場の運転監視を民間まかせにしてきたこと、市民への賠償の遅れは市長の責任重大です。



敬老乗車証制度を守ろう！

市会議員団は6月3日、連絡会のみなさんと全市で「敬老乗車証制度の改善に反対」「市民の宝、敬老乗車証を守りましょう」と宣伝署名活動をしました。「署名させて」と声をかけて下さる方もありました。運動をさらに広げましょう。



どんなお困りごとでもお寄せ下さい！

伏見生活相談所 TEL.621-6717
日本共産党伏見地区委員会 TEL.611-9135